

Unified Computing System KVM によるブレードサーバへのコンソール アクセスの設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[UCS Manager の GUI](#)

[UCS Manager の CLI](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

KVM コンソールはブレードのビデオ出力の Video over IP 表示です。Cisco UCS でのサーバブレードに対する KVM コンソール アクセスは、概念的には、ブレードに対する業界標準の KVM コンソールに類似しています。この設定例では、Unified Computing System (UCS) Manager 経由でのブレードの視点で KVM コンソールへのアクセス方法を説明しています。さらに、サーバプロファイルの関連付けが完了すると、サーバプロファイルの表示からでも同じ KVM コンソールにアクセスできます。KVM コンソール サービスはブレードの BMC で提供され、外部 IP アドレス (つまり、外部ルーティング可能アドレスのプール) を介してのみアクセスできます。

KVM コンソールを使用してブレードサーバにアクセスするために、サーバブレードへの管理インターフェイスとして IP アドレスのプールが割り当てられています。これらの IP アドレスは KVM コンソール アクセスを表しています。これらの IP アドレスは、KVM コンソール経由でのサーバへのリモート アクセスのために、外部ルーティング可能である必要があります。

この設定例では、Cisco UCS 環境でのブレードへの KVM コンソール アクセスの下記の方式による設定方法を説明しています。

- [UCS Manager の GUI](#)
- [UCS Manager の CLI](#)

前提条件

要件

シスコでは次を推奨しています。

- Cisco UCS サーバブレードのソフトウェアとハードウェアに関する実務知識があること。
- UCS 管理アプリケーションに精通していること。
- このドキュメントで説明されているさまざまなコマンドの影響と意味を理解していること。
- UCS のコンポーネントとトポロジに精通していること。一般的なソリューションについては、[「ネットワークダイアグラム」](#)を参照してください。

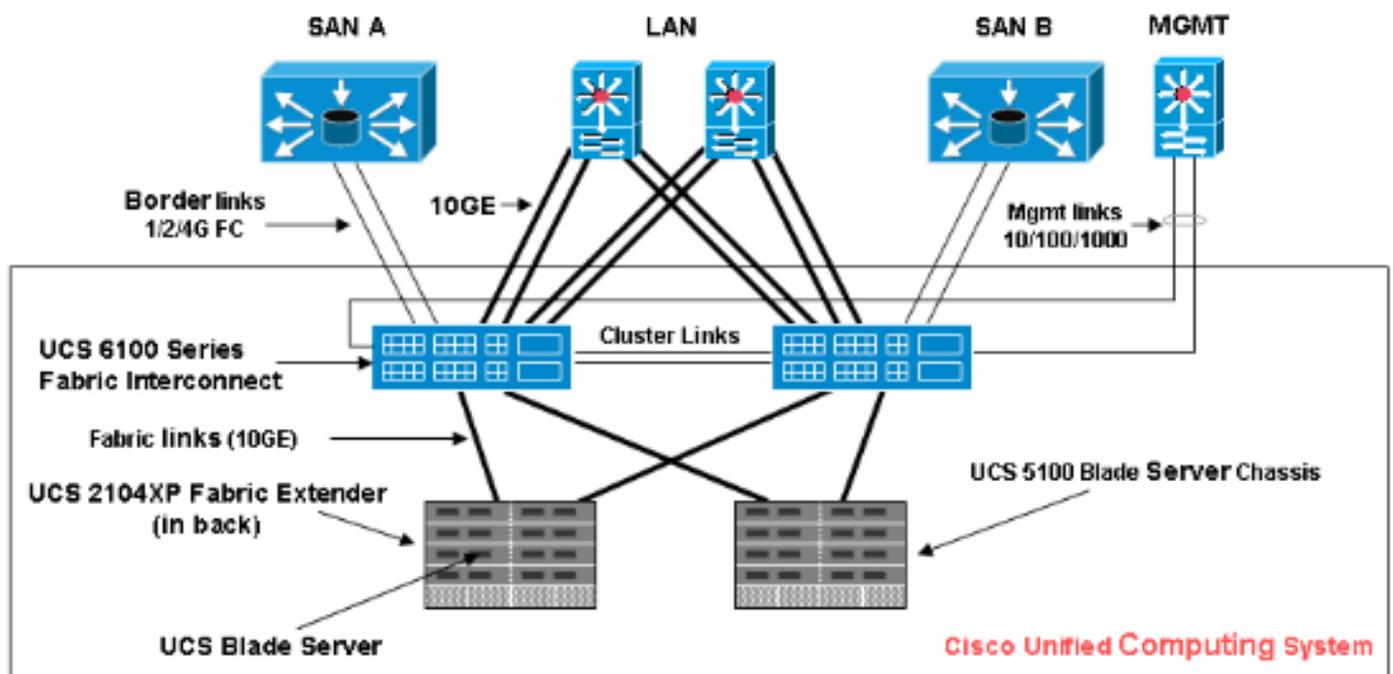
使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Unified Computing System に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

ネットワーク図

一般的な Cisco UCS のトポロジは次のネットワークダイアグラムのようなものです。



表記法

ドキュメント表記の詳細は、[『シスコテクニカルティップスの表記法』](#)を参照してください。

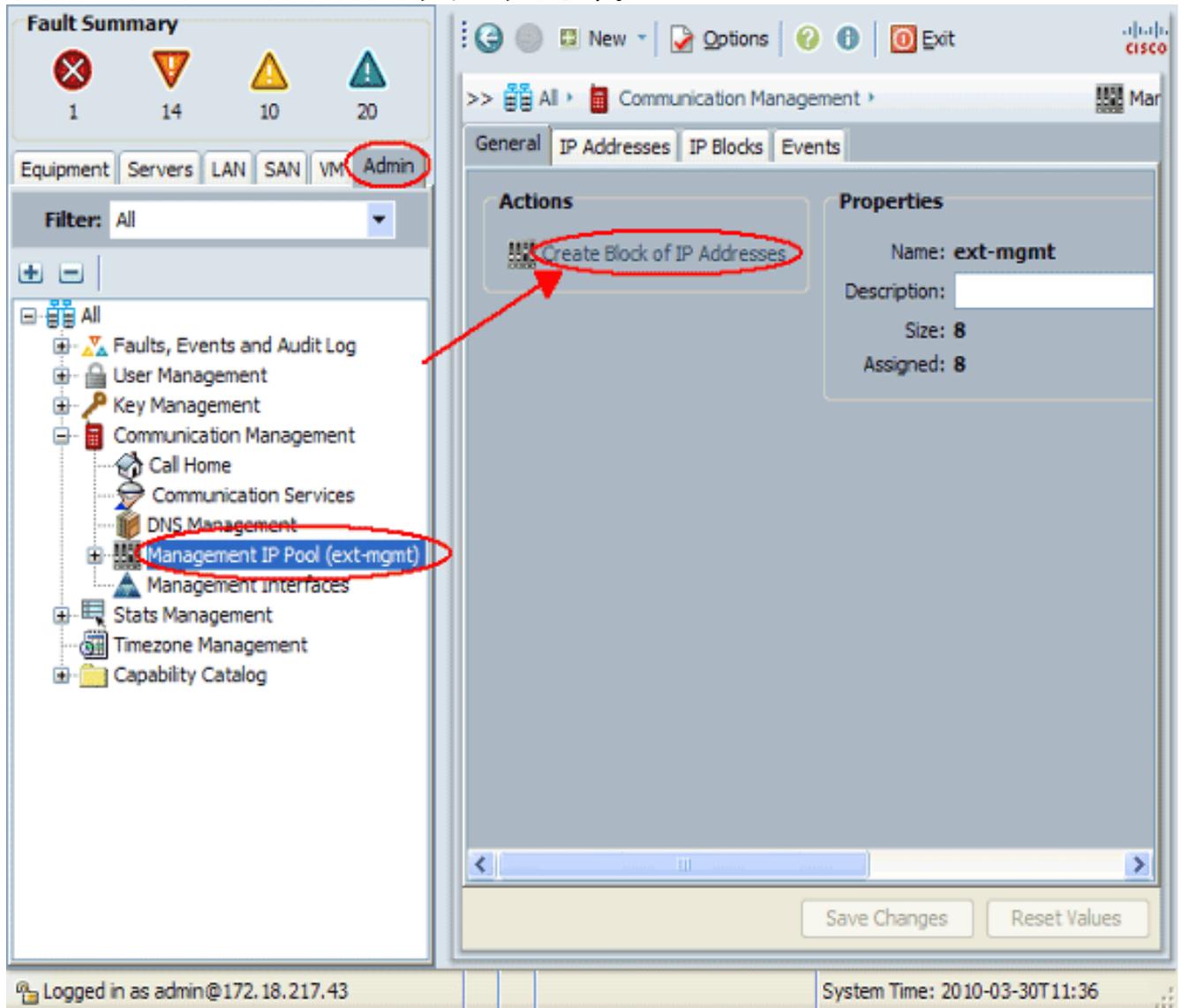
設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

UCS Manager の GUI

UCS の GUI を使用してブレード サーバへの KVM コンソールアクセスを設定するには、次の手順を実行します。

1. ナビゲーション ペインで **Admin** タブをクリックします。
2. **Communication Services** を展開し、**Management IP Pool (ext-mgmt)** を選択します。
3. **Create Block of IP Addresses** をクリックします。



4. IP アドレスのブロックを作成するために適切な情報を入力し、**OK** をクリックします。注: IP

Create Block of IP Addresses

Create a Block of IP Addresses

From: 10.193.35.200

Size: 1

Subnet Mask: 255.255.255.0

Default Gateway: 10.193.35.1

OK Cancel

UCS Manager の CLI

UCS の CLI を使用してブレード サーバへの KVM コンソールアクセスを設定するには、次の手順を実行します。

1. org モードに入ります。
2. ip-pool に入り、次に ext-mgmt モードに入ります。
3. プール IP アドレス ブロックを入力します。
4. トランザクションを確定します。

確認

KVM コンソール アクセスが正しく設定されているかどうかを確認するには、次の手順を実行します。

1. ナビゲーション ペインで [Equipment] タブをクリックします。
2. ブレードがインストールされているシャーシを展開します。
3. **Servers** タブを展開します。
4. ブレード サーバを選択します。
5. **General** タブをクリックして、次に **KVM Console** をクリックします。

The screenshot displays the Cisco UCS Manager web interface. On the left, a navigation tree shows the hierarchy: Equipment > Chassis > Chassis 3 > Servers > Server 7. The 'Equipment' and 'Server 7' nodes are circled in red. The main content area shows the 'Server 7' configuration page. At the top, there are four status indicators: a red 'X' (1), a yellow triangle (14), a yellow triangle (10), and a green triangle (20). Below these are tabs for LAN, SAN, VM, and Admin, with 'Equipment' selected. A 'Filter: All' dropdown is present. The 'Fault Summary' section shows four status indicators, all with a count of 0. The 'Status' section indicates 'Overall Status: ok' with a 'Status Details' button. The 'Actions' section contains several options: 'Create Service Profile', 'Boot Server', 'Shutdown Server', 'Reset', 'Recover Server', 'Server Maintenance', 'KVM Console' (circled in red with a red arrow pointing to it), 'SSH to CIMC for SoL', and 'Turn on Locator LED'. The 'Physical Display' section shows a rack view of the server. The 'Properties' section lists details such as Slot ID: 7, Product Name: Cisco B200-M1, Vendor: Cisco Systems Inc, Revision: 0, User Label, UUID: Bc1d5178-8c02-1, Service Profile: org-root/js-CE_M8, and Locator LED. At the bottom, there are 'Save Changes' and 'Reset Values' buttons. The status bar at the very bottom shows 'Logged in as admin@172.18.217.43' and 'System Time: 2010-03-30T11:35'.

次のイメージに示されているように、KVM コンソールのブレード サーバへの接続が成功している必要があります。

